

湖族の郷アートプロジェクト ——人と人をHEARTでつなぐ——

会期：2006年2月20日～2月26日

会場：大津市堅田地区

主催：大津市北部ギャラリー化プロジェクト実行委員会（堅田商工会、企画団体「U-si」）

協力：堅田観光協会、堅田商業連合協同組合、湖族の郷、湖族の郷資料館、artyard、成安造形大学

後援：大津市、社団法人びわ湖大津観光協会、NHK大津放送局、びわ湖放送株式会社、読売新聞大阪本社、京都新聞滋賀本社、中日新聞社、毎日新聞社、朝日新聞大津総局、産経新聞大阪本社、滋賀ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム滋賀、堅田漁業協同組合、堅田学区自治連合会、堅田文化協会

湖族の郷アートプロジェクトは、滋賀県大津市堅田地域で開催された、滋賀県下最大規模の地域密着型アートイベントです。100名をこえる作家たちが、寺社仏閣、店舗、空き家、公園、道路、湖岸など、あらゆる場所を使って、その場所ならではの作品を展示しました。この展覧会は、堅田商工会と成安造形大学の学生有志による企画団体「U-si」が協力しておこなう初めての試みでした。（□）

出品者：

浅見未由希、東明美、荒蒔綾子、安藤吉準、井久保経、池本輝顕、石井久美子、石井翔子、石川亮、泉亜希、伊藤舞、今西美奈都、今村冬士、岩崎 健志、INT、碓井ちぐさ、内村牧子、江崎有香、越後裕子、遠藤有香、大西恵、大西涼介、おかきょうこ、岡本皓司、小川絵理奈、奥村倫子+小八重充、景山響子、金崎久美、兼古督士、亀井麻里、川岸一人、川端那奈子、北山善夫、楠木渚、熊野美美、桑野聖子、KSKと新谷直大、見明沙和子、小板橋慶子、小島摩紀+大浦文夫、小林加奈、古山敬典、阪上公啓、坂本恵莉、笹岡敬、佐野耕平、G205、信ヶ原良和、春藤佳奈、新垣裕子、スミ、住村直樹、高井温子、高田恵介、辻亜紀子、壺井智加、土井喜久香、Toki、友ちはる、TRANSPARENT group、中川さやか、中島未由紀、中野あや美、西澤雪乃、能川和子、橋尾航史、橋本優一、畑秀典、馬場由未子、バレバレのハレ、東野真衣、翡翠籠、平田晶敬、平田麻子、平野さゆり、廣瀬香奈子、福田真知、福家悠太、藤井俊治、舟田亜耶子、前嶋章吾、松嶋南海子、松本アキヒサ、水頭隆、南井克征、三原昌郎、三好晃、明界要介、村田里子、森田鈴香、森泰之、山田憲、yuuco hirakawa、横山奈美、Rock、立体造形部 Genossen、浦田優樹、渡辺健人、渡辺真由

ワークショップなどの記録

Report of Workshops

芸術文化交流センター公開講座

淡海の夢2006

企画・監修：永江弘之（デザイン科助教授）
主催：芸術文化交流センター

本学が立地する仰木の美しい棚田風景や琵琶湖の豊かな水系。そうした地元根ざした創造的な活動として「淡海の夢」企画は4年を終えた。自然や生き物と人々が共存する「持続可能な環境」。次世代に引き継ぎたい美しく貴重な風景。多くの人に、この日本の原風景を自分の感性で実感していただきたく、今年も「写生会、公募風景展、講演会」を開催した。

全体を通して、リピーターの方が増えてきた。一連の企画を通して、光や風、空気感、土地の情緒など、より深くその土地や自然を感じることができたと思う。滋賀、近江という土地の持つ魅力を楽しむために、今後も長く続けていきたい。



写生風景

仰木・春の棚田写生会

開催日：2006年4月29日、5月1日

会場：大津市仰木地区

講師：井上直久（デザイン科教授）、田中真一郎（同助教授）、岸田保（同非常勤講師）、永江弘之

仰木・夏の棚田写生会

開催日：2006年8月5日、8月6日

会場：大津市仰木地区

講師：岸田保、永江弘之

湖族の郷・堅田写生会

開催日：2006年9月23日、9月24日

会場：大津市堅田地区

講師：岸田保、永江弘之

仰木・秋の棚田写生会

開催日：2006年10月14日、10月15日

会場：大津市仰木地区

講師：岸田保、永江弘之

本年度は、春・夏・秋3回の大津市仰木地区・棚田写生会に加えて、湖族の郷・堅田写生会を実施した。

「錠あけて 月さしいれよ 浮御堂」松尾芭蕉がたびたび訪れた浮御堂、トンチ和尚で名高い一休和尚が修養し、さとりを開いたところとして知られる祥瑞寺などがあり、琵琶湖の水運・漁業など、湖上の特権を持つ堅田衆（湖族）が栄えた歴史ある町「堅田」で、漁港や浮御堂にかけての湖岸や古い町並みを描いた。

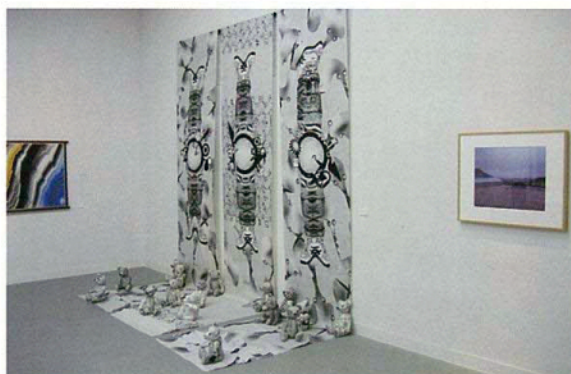
「春の棚田写生会」は、4月19日に放映されたNHKの「おうみ発610 中継スペシャル」のお知らせコーナーでの宣伝効果もあり、126名という多数の方にご参加いただいた。

全体を通して、リピーターの方が増えている。初心者の方から公募展などに出品されている方まで幅広く、「一人で描くのは勇気が要るけれど、こんな機会を作っていただけるとありがたい。」とおっしゃる方が多い。1日の最後の「講評会」が好評だが、人数が増えると時間配分が難しい。

夏の棚田、秋の棚田と、それぞれの風情がある。ゆったりとした時間の中でそうした風景と向かい合っていると、心がほぐれる感じがする。仰木の棚田は、とりわけ「山ふところに抱かれた」包み込まれるような感じがすると思う。参加者の方もそうした心地よさもあって、何度も訪れられるのではないだろうか。

仰木クリエイターズ展

会期：2006年10月3日～10月9日
会場：ギャラリー「アートサイト」
出品者：宮崎芳郎、本田昌史、大町憲治、山田晶、神保武史、中ハシクシゲ、野間一夫、中野悟朗
企画：辻喜代治（造形美術科教授）
主催：ギャラリー「アートサイト」運営委員会



仰木クリエイターズ展 会場風景

成安造形大学が天津市仰木の里に開学以来、旧来の仰木地域のほか周辺に、新しく仰木の里や衣川の町が発展してきている。その中に芸術分野の作家の方たちも多く居住され、日々創作活動に励んでおられることは余り知られていない。今回の展覧会は、大学祭に合わせてこうした作家の方々の作品を、地域の人や教職員そして学生諸君たちに知ってもらうために企画した。展覧会は仰木の里を中心に、8人の作家による陶芸や染織、漆、現代美術と実に幅広い展示となり、さらに会期中に交流会も開催し作家同士、学生、教職員との交流が行なわれた。会期中、大学祭の時には地域の人たちを中心に300人ほどの入場者があり、盛況のうちに展覧会を終了した。来年はさらに発展させて取り組みたいと考えている。

文：辻喜代治（造形美術科教授）

石坂線文化祭

会期：2006年10月28日～11月5日
会場：京阪石坂線（大津市）
出品学生：横井悠（構想表現クラス2年生）賀川雄太、松澤芳子（同3年生）、中野あや美（同4年生）
出品者：滝本章雄（構想表現クラスTA）
主催：石坂線21の顔づくりグループ



電車がキャンバスに（撮影：滝本章雄）

三井寺、石山寺などの古刹が多い大津市南北14.1キロを走る京阪石坂線。浜大津のようなターミナルから無人駅を含む21の駅と車両を、沿線の中、高、大学生の美術作品で飾る「石坂線文化祭」が今秋開かれた。地元の市民団体による企画で、一週間の期間中運行した2両1編成の“アート電車”（文化祭特別号）に昨年度に続いて、造形美術科構想表現クラスの有志が挑み、車体には松澤の電車を掴む手、賀川のキャラクターが施され、車内では網棚に横井のオブジェ、ガラス窓に中野のストローによる“スタンドグラス”と滝本のグラフィックが展示された。

一昨年、韓国の光州ビエンナーレのおり、「エコ・メトロ」という関連展が同市地下鉄の車両と駅で行なわれたが、本邦初ではあるこの催しが大津の新しい伝統となるような、コミュニティー型のアートイベントとして継続して欲しいものである。

文：今井祝雄（造形美術科教授）

第2回湖族の郷アートプロジェクト

会期：2006年12月9日～12月19日

会場：大津市堅田地区

主催：湖族の郷アートプロジェクト実行委員会（堅田商工会、企画団体U-si）

後援：滋賀県、財団法人滋賀県文化振興事業団、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会、社団法人びわ湖大津観光協会、NHK大津放送局、びわ湖放送株式会社、読売新聞大阪本社、京都新聞滋賀本社、中日新聞社大津支局、毎日新聞社大津支局、朝日新聞大津総局、産経新聞大阪本社大津支局、滋賀ケーブルネットワーク株式会社、株式会社エフエム滋賀、堅田漁業協同組合、堅田学区自治連合会、堅田文化協会

協力：成安造形大学、堅田観光協会、堅田商業連合協同組合、湖族の郷、湖族の郷資料館

出品者：

INT、浅川あゆみ、秋吉桃子、東淳也、瀧美詩子、アヤコモリダ、荒薪綾子、安藤みちこ、井久保経、石井久美子、石川亮、石谷薫、石田彩乃、岩名泰岳、IWASAKI TAKESHI、上田静香、碓井ちぐさ、HM3、江崎有香、大内久美子、大崎土夢、大田高充、太田素子、大村大悟、蔭山歩、景山響子、片山夕希、亀井麻理、川合ひとみ、川西斐子、木崎健史、北川明寿香、木藤純子、国谷隆志、楠木渚、栗田恵理子、桑野聖子、小坂橋慶子、小橋智美十長谷川由香、小森崇司、坂本藍、阪本龍哉、佐久川長久、笹岡敬、佐野耕平、澤口未央、塩見彩、鈴木朋之、平良大樹、高田恵介十桂田孝太、辰巳嘉彦、田村泉、田村紗耶子、CHOJIN CLUB、村井美々、パウズハマモト、西武アキラ、はばおさん、鶴岡映里、道家大昌、徳田卓也、niceguy?、中川トララ、中島暢子、仲谷建緒、中出陽子、新岡良平、西澤雪乃、西原裕子、羽部ちひろ、日下のりこ、福田圭、flyer、舟田亜耶子、林原章矩、福岡拓郎、前田千秋、増井奈央子、マスタタクマ、松澤芳子、松林岳、松本アキヒサ、丸山晃弘、見明沙和子、南由香梨、三好晃、村田里子十藤岡佳菜十仲居保乃可十古谷野都十柳本奈都子十原摩利彦、村田裕美、moppu、元木環、森藍子、森泰三、八木雪絵、山内鈴花、山田泰三、山口英香、山中陽子、山野十広瀬、山本哲也、山本真希、吉田典子、よしもとめぐみ、Rabbit Hutch、6組の魔術師、涌田優樹、渡辺真由

「湖族の郷アートプロジェクト」は、滋賀県大津市堅田地域で開催される、滋賀県下最大規模の地域密着型アートプロジェクトです。歴史ある堅田の寺社や空き家、美しい湖岸の景色を使って、次世代を担う約100名のアーティストが作品を展示します。このプロジェクトでは、堅田商工会と成安造形大学の学生（企画団体U-si）が協力して、アートのある「まちづくり」を提案します。 □

芸術文化交流センター公開講座

比叡山麓の歴史と文化

開催日：2006年11月11日

会場：本部棟三階ホール

講師：木村至宏（成安造形大学学長）

主催：芸術文化交流センター



木村至宏氏



比叡山麓の歴史と文化 講演風景

この公開講座は、本学の教育理念「芸術による社会への貢献」の精神に沿って、平成20年度に設立される「芸術文化デザインクラス」、あるいはそれとともに計画されている「近江学研究所」の設立など、地域文化を見直し、そこに新しい表現の源泉を求めようとする本学の方針がその背景にある。木村学長の講演には毎回出席されるファンも数多く見られて、軽妙洒落な講演に会場は、しばしば爆笑の渦に包まれた。教学課長の加藤氏が現地に同行し、新たに撮影し作成されたスライドを用いて比叡山麓の文化財とその文化を解説された。日吉大社、滋賀院、慈恩堂、坂本、西教寺、聖衆来迎寺、安養院、仰木、衣川、堅田、天然図画亭、野神神社など、大学周辺にも歴史遺産が、数多く存在していることに、改めて思い知らされたひとときであった。また近隣住民にとってはなじみ深い場所の歴史的、文化的価値を学ぶことで充実感のあるひとときを過ごした。 文：人長信昭（デザイン科教授）

芸術文化交流センター公開講座

淡海の夢 2006

講演会「命とつながる住の物語～里山からみえる未来～」

開催日：2006年11月22日

会場：本部棟三階ホール

講師：大岩剛一（デザイン科教授）

里山は、村に生きる人々の心と、豊かな知恵と技術によって、長い時間をかけて維持されてきた暮らしの場である。命とつながり、命を育む場としての里山からみえてくる、私たちの住環境の現在と未来について、本学の大岩剛一教授に講演いただいた。

大岩氏が7月に出版された絵本『わらの家』（くうねるところにすむところ 17 子供たちに伝えたい家の本）の中で語ってられることも交えながら、スライド映写などを通じて、氏の想いとヴィジョン、感傷やノスタルジーではない「なつかしい未来」、「つながりなおす未来」の在りようがポジティブに伝わってきた。

講演会の後は、本学ギャラリー アートサイトにて開催中だった「淡海の夢 2006 風景展」（『わらの家』原画展を併設）に場所を移し、受講者のみなさんと大岩氏との歓談のひとときを持った。



大岩剛一氏



公募展 第1期 展示風景

公募展 棚田・里山、湖辺の郷 淡海の夢2006風景展 第1期展示

会期：2006年10月31日～11月5日

会場：西武大津ショッピングセンター四階アートサロン（大津市）

応募点数：71点

出品点数：51点（内訳：一般42点、本学学生6点、賛助出品3点）

出品者：赤井克則、明井克子、猪飼和夫、今井卓郎、音野満知子、角田緑子、神澤力男、神崎均、岸田壯一郎、小谷昌弘、酒井隆良、柴義雄、篠部榮助、白石絵美、杉本作蔵、鈴木孝子、土井佳子、利森久子、中島康行、中島宏、難波修平、原地弘市、平川克治、藤田昌之、船越はつ子、星野良子、松浦宏明、松原弘幸、溝辺行雄、村上眞、森馬康子、諸岡明、諸岡恭子、山元昭彦、依田賢太郎、輪木梅子、脇田富美子、渡邊千鶴子、渡辺雅子

出品学生：井川淑恵、芝沙織、白瀬綾子、宮本亜由美、八木雪絵、吉岡航（卒業生を含む）

賛助出品：井上直久、岸田保、永江弘之

公募展 棚田・里山、湖辺の郷 淡海の夢2006風景展 第2期展示

会期：2006年11月21日～12月1日

会場：ギャラリー「アートサイト」

応募点数：73点

出品点数：51点（内訳：一般43点、本学学生6点、賛助出品2点）

出品者：一般：赤井克則、明井克子、猪飼和夫、今井卓郎、音野満知子、角田緑子、神澤力男、神崎均、岸田壯一郎、小谷昌弘、酒井隆良、柴義雄、篠部榮助、白石絵美、杉本作蔵、鈴木孝子、土井佳子、利森久子、中島康行、中島宏、難波修平、能崎不二夫、原地弘市、平川克治、藤田昌之、船越はつ子、星野良子、松浦宏明、松原弘幸、溝辺行雄、村上眞、森馬康子、諸岡明、諸岡恭子、山元昭彦、依田賢太郎、輪木梅子、脇田富美子、渡邊千鶴子、渡辺雅子

出品学生：井川淑恵、芝沙織、白瀬綾子、宮本亜由美、八木雪絵、吉岡航（卒業生を含む）

賛助出品：岸田保、永江弘之

※絵本『わらの家』（くうねるところにすむところ 17 子供たちに伝えたい家の本）の挿絵原画（作画：蔭山歩（デザイン科非常勤講師））を併設。

油彩、水墨画、水彩、アクリル絵具、鉛筆など、多彩な画材による絵画作品に加え、写真の組作品など、クオリティの高い作品がそろった。作品のサイズも、小品からF40号（1000×803mm）まで、バラエティに富んだ展示だった。より多くの人に見ていただければと思う。

文：永江弘之（デザイン科助教授）



公募展 第2期 展示風景

協力事業（学生派遣等）

- 「第23回大津っ子まつり」(似顔絵制作)
実施日：平成18年5月21日(日)派遣人数：10名
- 大津市男女共同参画センター「浜大津フェスタ」(似顔絵制作)
実施日：平成18年5月3日(祝・水)、5日(祝・金)派遣人数：各日5名
- たかしまこどもまつり (似顔絵制作)
実施日：平成18年7月16日(日)派遣人数：3名
- 滋賀県立障害者福祉センター「第16回夏まつり」(似顔絵制作)
実施日：平成18年7月23日(日)派遣人数：3名
- キッズアート2006「キッズゲルニカ in 高島市」(サポートスタッフ)
実施日：平成18年7月27日(木)～30日(日)派遣人数：2名
- 「アートフェスタ in 大津」(似顔絵制作)
実施日：平成18年7月29日(土)派遣人数：3名
- 琵琶湖グランドホテル「ちびっこまつり」(似顔絵制作)
実施日：平成18年8月1日(火)～20日(日)派遣人数：期間中延べ34名
- 大津市科学館「サイエンスフェスタ 2006」(似顔絵制作)
実施日：平成18年8月5日(土)派遣人数：3名
- 上仰木辻ヶ下生産森林組合「森づくり事業」(森林づくり協力)
実施日：平成18年8月6日(日)派遣人数：7名
- おもちゃのやかた遊遊館「おもちゃ倶楽部」での指導
実施日：平成18年8月18日(金)派遣人数：2名
- 「子どもと楽しむ展覧会」(芸大生ボランティア)
実施日：平成18年8月18日(金)～21日(月)派遣人数：延べ30名
- 仰木学区「ふれ愛夏まつり」(似顔絵制作)
実施日：平成18年8月19日(土)派遣人数：3名
- コープしが北大津センター「おもいっきりお絵かきとピースバレーン」(絵画制作協力)
実施日：平成18年8月19日(土)派遣人数：2名
- 日吉台2丁目南自治会「夏のお楽しみ会」(似顔絵制作)
実施日：平成18年8月20日(日)派遣人数：3名
- ローレルコート南草津町内会「納涼祭」(似顔絵制作)
実施日：平成18年9月3日(日)派遣人数：2名
- 「J・B・ダイハツ感謝祭」(似顔絵制作)
実施日：平成18年10月21日(土)派遣人数：4名
- 上仰木辻ヶ下生産森林組合「森づくり事業」(森林づくり協力)
実施日：平成18年10月22日(日)派遣人数：1名
- 湖部が丘自治会秋のフェスティバル (似顔絵制作)
実施日：平成18年10月22日(日)派遣人数：2名
- 「おいでやす近江いまづ 湖の辺の道 秋覚祭」(似顔絵制作)
実施日：平成18年11月3日(祝・金)・4日(土)派遣人数：各日2名
- 成安幼稚園「せいあんまつり」(似顔絵制作)
実施日：平成18年11月4日(土)派遣人数：6名
- 長浜八幡宮七五三参り (似顔絵制作)
実施日：平成18年11月11日(土)、12日(日)、19日(日)派遣人数：各日3名
- 「仰木の里学区まちづくりフェスタ 2006」(ボランティア)
実施日：平成18年11月12日(日)派遣人数：5名
- 彦根南ロータリークラブ「年忘れ家族会」(似顔絵制作)
実施日：平成18年12月12日(火)派遣人数：4名
- 「ふれあいサロン『ひまわりの種』」(似顔絵制作)
実施日：平成19年2月17日(土)派遣人数：3名
- 読売新聞「滋賀県知事選挙候補者似顔絵」制作
- 滋賀県後期高齢者医療広域連合「連合章」作成協力
- 大津市消防局「平成19年度危険物安全推進ポスター」作成協力